

【工場見学をしてきました！】

2024年2月5日、白鷗大学サステナ部の有志7名で、茨城県にあるPETボトル再生工場を訪れました。使用済みPETボトルから透明容器へのリサイクルは、年間約73,000t(約30億本分!)ものPETボトルを回収し、循環型リサイクルの輪をおおきく拡げていらっしゃいます。

当日は雪の降るあいにくの天気ではありましたが、とても歓迎していただきましたご担当さまからの説明を伺ったのち、実際に工場内を案内してもらいました。近赤外線による素材識別や比重分離など多くの工程を経たのちに、ペレット(再生PET素材)が生み出されている様子を目の当たりにしました。一同、循環型リサイクルの最前戦に釘づけになりました。とても勉強になりました!

【循環型リサイクルの輪に加わりました!】

栃木ゴールドエンブレブス地域共創センター、白鷗大学齋藤ゼミ、サステナ部(白鷗大学サークル)は、2022年より、BCリーグ公式戦会場にて、「ペットボトル分別廃棄促進プロジェクト」に実施してまいりました。「肘で軽くつつく」ような工夫(行動経済学ではナッジと呼ばれます)によって、環境配慮行動を促進し、根づかせようとする試みです(写真1, 2)。

2024年3月14日、昨シーズン終了までに回収したPETボトルを、いよいよ、再生工場へ搬入させていただきました。2tトラックの荷台に積み上がったPETボトルは、計量したところ、90kg(およそ2,000本くらいでしょうか?)でした。この工場が年間に回収するPETボトルの本数(約30億本)に比べれば、ほんの些細な分量です。でも、それでも、実際に循環型リサイクルの輪に実際に加わったという実感は、来シーズンのわれわれの活動にとって、おおきな励みになることでしょう。

